
不自由の世界

千葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不自由の世界

【Nコード】

N8584N

【作者名】

千葉

【あらすじ】

生々呼吸であると誰かが言っていた

「そうそう、その意気!!」

新しい空気を吸い込むために顔を上げた刹那、彼女の声が真っ直ぐに僕の耳へ飛んできた。

人の気も知らないで、と一瞬イラついたが、彼女の声にはからかいなんて微塵も含まれていないし、心底からそう言ってくれているのだらうと思う。

そうすると、必死に声を張り上げているのだらう彼女の表情が頭に浮かんで、擡げていたイラつきなど、始めから無かったかのように綺麗に消え去ってしまった。

一体何m泳げばいいんだっけ。

酷く物音の乏しい水中。すぐそこで行われているはずの喧騒が、ちつとも耳に届いてこない。

息継ぎのためのあの一瞬に調度彼女の声が届いたのは、偶然と呼ぶのが相応しいだらう。

まるで独りきりになってしまったかのような、場違いな孤独感に襲われるこの空間で、例えば内容がどうだらうと、人の声が聞こえるこ

とは心強かった。

確か、泳がなければならぬのは100mだったはずだ。
行き止まりの壁が見え始めたところで思い当たった。
ターンをしなければ。

陸上ではたったあれだけの距離が、水中ではなんて遠い。
壁を蹴って50m地点を折り返しながら、途方に暮れそうになった。

そして漠然と、
呼吸の自由が無いこの場所は、ひょっとしたら死に一番近い場所なのかもしれないと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8584n/>

不自由の世界

2010年10月21日10時00分発行